

「モラリストメエクスパート」を育成。

立正大学



撮影：渡部陽一氏

立正大学社会福祉学部創設20周年記念講演会

世界からのメッセージ ～平和と命の大切さ

講師

渡部 陽一氏【戦場カメラマン】



日時 2016年11月13日(日) 13時30分～15時ごろ

会場 立正大学 熊谷キャンパス(熊谷市万吉1700) アカデミックキューブA101教室

主催 立正大学社会福祉学部

問い合わせ 立正大学社会福祉学部事務局
TEL.048-536-1328 HP.<http://www.ris.ac.jp>

※当日は、会場にて渡部陽一氏の写真展示を行っており、ご自由にご覧いただけます。

入場無料・申し込み不要

当日直接会場にお越しください。A101教室は400名程度ですが、来場者多数の場合は別室にてライブ中継映像をご覧いただけます。

保育なし

ご希望により、お子さんと一緒に、別室ライブ中継会場もご利用いただけます。



社会福祉学部創設20周年

交通アクセス

JR・秩父鉄道「熊谷駅」南口または東武東上線「森林公園駅」より、国際十王バス「立正大学」下車
※車でお越しの方は学生駐車場をご利用下さい。



立正大学社会福祉学部創設20周年記念講演会
2016年度立正大学社会福祉研究所公開講座
医療ソーシャルワーク論特別講義
命ある限り道は拓かれる

世界一短い詩と言われる短歌で、重度障害者の思いを
せつせつと伝える『命ある限り道は拓かれる』ご期待下さい。



日時 2016年11月12日(土)
13時～14時半

場所 立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ A101
どなたでもお聞きいただけます。
お申し込みの必要はございません。参加費は無料です。

お問い合わせ 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 立正大学社会福祉学部 社会福祉学科 保正 t-hosho@ris.ac.jp



講師 ALS患者

船後靖彦(ふなごやすひこ)氏

株式会社アース 取締役副社長

サービス付き高齢者向け住宅サボテン六高台名誉施設長

●船後靖彦(ふなごやすひこ)氏プロフィール

1957(昭和32)年生まれ。商社マンであった41歳に全身の筋肉が急激に委縮する難病であるALS(筋萎縮性側索硬化症)を発病。絶望の縁から這い上がり、人工呼吸器と胃ろうを装着。歯で噛むセンサーを使ってコンピュータを操作し、日常のコミュニケーションから執筆・創作活動、講演活動、大学の非常勤講師なども務める。

2012年に訪問看護・介護サービスの株式会社アースの取締役に就任、現在は取締役副社長。

サービス付き高齢者向け住宅サボテン六高台名誉施設長。利用当事者としての提言や職員教育に携わっている。

著書に『しあわせの王様』(小学館・共著)、『三つ子になった雲』(日本地域社会研究所)、『死ぬ意味と生きる意味』(上智大学出版・共著)など。

「モラリスト×エキスパート」を育む。

立正大学